

平成28年度 小学校教職員を対象とする環境教育研修会 実施報告
「やってみよう！環境学習プログラム」第4回「“水”調査隊」実施報告(テーマ：水)

□実施日時 平成28年8月9日(水) 10時00分～16時15分

□受講者数 21名

□実施場所 福生市立福生第七小学校、福生市牛浜周辺の多摩川

□実施内容

【午前】

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局(研究所)から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局総務部環境政策課から開講挨拶等

2. ゲストティーチャーからの講義及び実習

(ゲストティーチャー:NPO法人自然環境アカデミー専務理事 野村亮氏)

「多摩川の水生物の調査」

- ・救命胴衣の付け方を教わる
- ・川に入る諸注意を受けた後、実際に川の中へ入り、水生生物調査を開始



- ・現場での説明、質疑応答



【午後】

- ・福生第七小学校で、採取した水生生物の生息環境等の説明
- ・採取した生物を、顕微鏡で観察



3. 環境学習プログラム「“水” 調査隊」の紹介及び実習

(講師:NPO 法人環境学習研究会理事長 谷村春樹氏)

(1) 「“水” 調査隊」プログラム紹介

① 「水の汚れ★へらし隊①パックテスト編」

概要説明とパックテスト体験

- ・水道水、ソースを垂らした皿を洗った水、ソースをふき取った皿を洗った水、浅川の水について、パックテストを実施
- ・CODの数値の高さ(汚れ度合い)について、見た目や印象(人間にとってのきれい、汚い)と実際に測定した数値結果が異なることを体感





②「水の汚れ★へらし隊②」

- ・DVDの上映
- ・生活排水を汚さない工夫
- ・アクリルたわし作りの体験 など



(2)「環境学習の意義」について（各回共通説明事項）

子供の健全な成長には、バランスよく理性と感性の両方を伸ばしていく必要がある。特に現代では、日常生活において実感を伴う様々な「体験」が不足していること、それゆえに学校において「体験」を伴う学習の必要性が増してきている。環境学習は、学校における各教科学習を基礎に、それら教科学習と関連させて実施することが大切である等の説明があった。

(3) まとめ（質疑応答及び受講者同士の情報交換）

この日の研修を通じ、気づいたこと、感じたこと、授業での取上げ方等について、受講者が一人ずつ発表し、講師がコメントをして、受講者間で情報を共有化した。



4. 事務連絡、アンケート記入等（事務局）

アンケート提出後、解散